

FIT Interview book

『人』を伸ばす!
福工大

小型衛星で
星空をライブ
中継!?



ARでそうめんが
ラーメンに!?

ええっ!!



うそっっっ!
2年生で
もう卒研!?

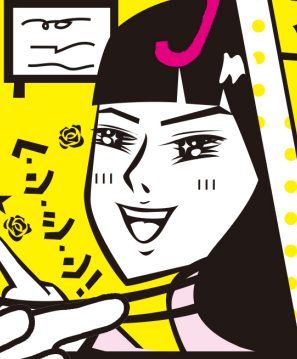


念願の放送業界へ!
その秘訣とは!?

4 ギョット!



1つの挑戦が
私を
変えた!



プロとの出会いが
未来を
動かした!

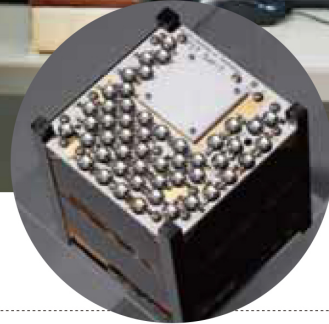


先輩たちの
リアルトーク

FIT Fukuoka Institute of Technology
福岡工業大学



工学部
 知能機械工学科2年
 上西 健太さん
 (福岡県 筑陽学園高校 出身)



先輩たちが作った人工衛星。宇宙から画像を送ったり、LEDでモジュール信号を発信したりしました

自分達で作った小型衛星で 宇宙から星空をライブ中継したい!

小型衛星に映像用カメラを搭載して
 宇宙の星空をライブ中継する!
 モノづくりセンターのプロジェクトで
 大きな夢にチャレンジする魅力を
 上西さんに聞きました。

今度の「小型衛星プロジェクト」は
 宇宙から動画配信!

知能機械工学科を選んだきっかけは?

上西 もともと理数系の教科が得意だったんですが、高校生の夏休みに遊園地へ遊びに行った時、何気なくみていた遊具に「どうやって動いているんだろう?」と興味を持ったことがきっかけです。遊園地の遊具を造る技術者になりたいと思い、工業系の大学を調べました。福工大のオープンキャンパスに参加した時にモノづくりセンターのことで、その楽しさを知り、福工大へ進学したいなという思いが強くなりました。

実際に入学してみてどうでしたか?

上西 福工大を選んだもう一つの理由が、「JABEEコース」があり、世界水準の教育が受けられること。実際の授業は高校と違い、専門的でとても

おもしろいです。1年生の頃実習で学んだ旋盤やフライス盤の授業、2年生から学んでいるCADの授業など、大学のこうした専門的な学びが今、衛星の設計や加工をする時にとても役に立っています。

モノづくりセンターのプロジェクトでは どんなことをしているのですか?

上西 学生が自主的に活動するモノづくりセンターのプロジェクトは入学前から参加を考えていました。現在は「小型衛星」のプロジェクトに参加しています。2012年の小型衛星の製作に成功した先輩たちを目標に、小型衛星に動画撮影用のデジタルカメラを搭載して、宇宙から星空をライブ中継するという大きな目標に向けて、日々製作に没頭しています。

今後の目標を教えてください。

上西 まずは「衛星設計コンテスト」への出場です!私たちが作った小型衛星が採用され、宇宙へ飛ばすことができるよう、もっともっと努力していきたいです。また、プロジェクトへの参加や専門的な学びで身につけた「とことん考え、行動してみる」、という力を存分に活かして、遊園地の遊具を造る技術者という夢に一步步近づいて行きたいと思っています。

大学の屋上にあるアンテナ。どのタイミングで衛星が通過するのかなど、追跡することができます



FIT SUPPORT

モノづくりプロジェクトへ 活動費を全額支援

福工大ならではの自慢の施設が「モノづくりセンター」。ここでは誰でも自由に参加できるプロジェクトが進行中。気軽にプロジェクトに参加できるよう、活動費はもちろん、大会への参加費や製作費なども大学が全額支援。研究に専念できる環境が整っています。

モノづくりプロジェクト

- エコ電
- ソーラーカー
- ロボコン
- ロボット相撲
- ビोटープ
- 二足歩行ロボット
- 小型衛星
- 手作りアクセサリー



情報工学部
情報システム工学科3年
中野 萌士さん
(福岡県 福岡工業高校 出身)
情報システム工学科2年
津田 英知さん
(福岡県 中間高校 出身)



どうすればよりリアルに感じられるか、試行錯誤の繰り返し



サイエンス・インカレの海外派遣メンバーとして、アメリカ・マサチューセッツ工科大へ

味覚を操作!?

ARでそうめんがラーメンに

専門知識が豊富な先輩の中野さんと、
実験初心者の後輩・津田さん。
ARを使った2人の研究が
「サイエンス・インカレ」で高評価を獲得!
研究のおもしろさなどを聞きました。

ユーモア溢れる研究が
サイエンス・インカレで驚きの入賞!

研究内容はどうやって決めたのですか?

中野 私は大好物のラーメンを病気のせいで食べることができなくなりました。どうにかしてラーメンをもう一度食べたくて、ラーメンの映像を見ながら別のものを食べたらラーメンの味がするんじゃないか、と。そこで「バーチャルな世界の研究をやってみよう」ということになりました。

津田 カメラを取り付けたヘッドマウントディスプレイを装着し、CGで再現したラーメンをARでそうめんにオーバーラップさせ、それを食べると味覚は変わるかを検証することにしました。

研究を進める中で大変だったことは?

中野 カメラ内蔵のゴーグルをつけると、PCに読み込んだラーメンの画像が、自分の目線を撮影す

るカメラに読み込まれるのですが、なかなかうまくいなくて。実際に食べる麺も、最初はうどんとかでやってみたのですが、やはりラーメンに近い食感のものであれば、脳が反応しないということがわかりました。それで一番近かったのは「そうめん」だったんです。

津田 最初は二人とも半信半疑だったのですが、やってみたら自分たちが思っていた以上に「ラーメン」で興奮しましたね!

「サイエンス・インカレ」での手応えは?

津田 みなさん、発表をおもしろがってくれて質問などもたくさん頂きましたし、手応えを感じましたね。

中野 結果、「国立研究開発法人科学技術振興機構理事長賞」と「サイエンス・インカレ審査員奨励賞」の2つを受賞することができました。

この研究で身についたことは何ですか?

中野 先生方もサポートしていただき、いろいろな経験ができたと思っています。それに、私たちが研究活動を行っている「FITポケットラボ」は学生主体ですので、積極性や段取り力などは身についたと実感しています。

津田 この研究に夢になれたことで、本気で取り組めば何でも実現できるんだという自信につながりましたし、何事も要領良く進める力がついたと思います。

FIT SUPPORT

やりたい研究に没頭できる FITポケットラボ

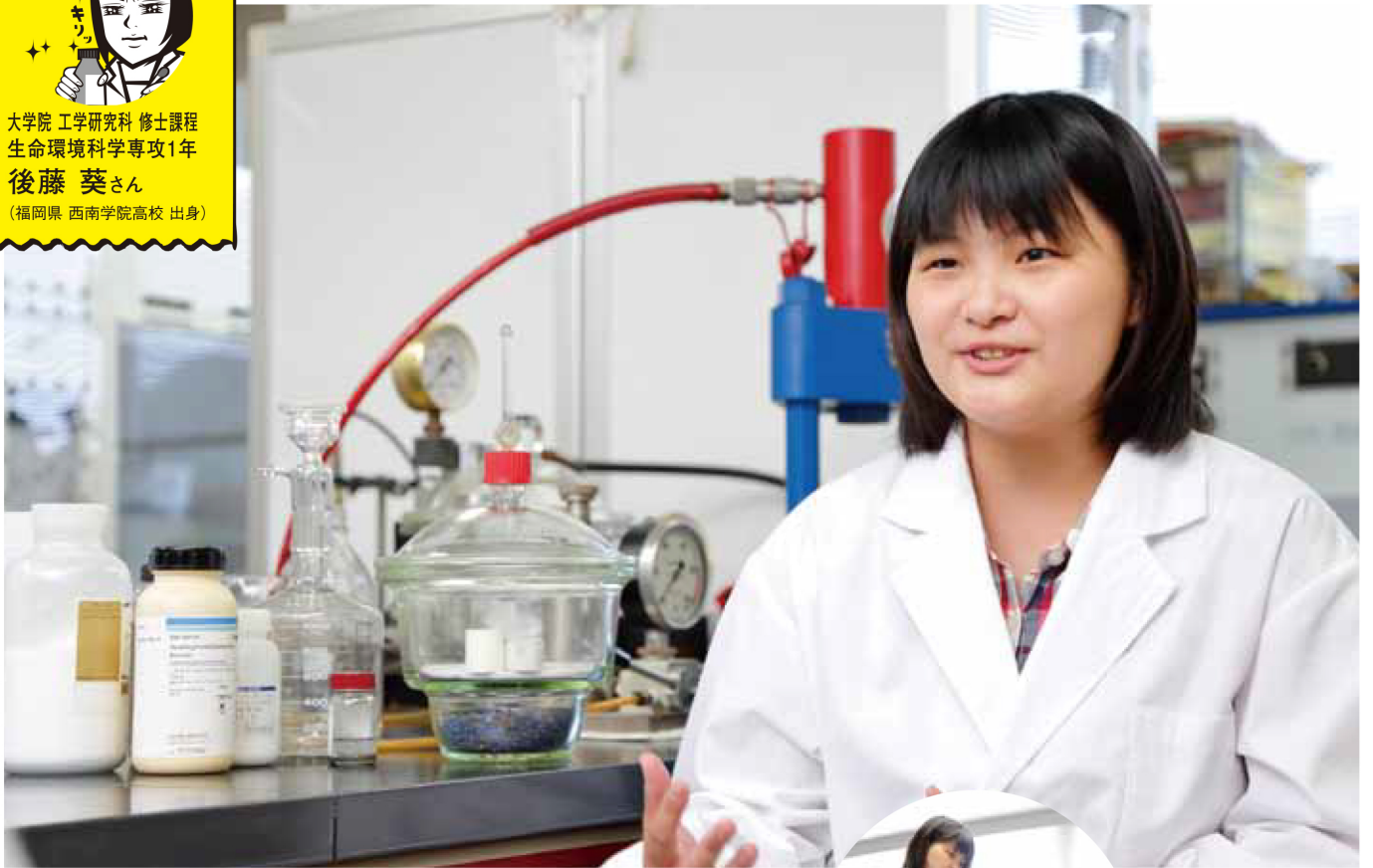
低学年時からユニークな学術研究活動に参加できる「FITポケットラボ」。参加者は研究テーマを自分で設定し、先輩や教授のアドバイスを受けて1年間実験や研究を行うことができる。文部科学省主催の「サイエンス・インカレ」に参加する学生も多く、2016年までの4年間でファイナリスト総数は31名。



サイエンス・インカレで受賞!



大学院 工学研究科 修士課程
生命環境科学専攻1年
後藤 葵さん
(福岡県 西南学院高校 出身)



2年生で研究に目覚め、 プレゼンアワード受賞へ!



企業との共同研究は学内との研究と違う視点があり、とても勉強になるそう



学会の表彰状
を手

「自分の“好き”を追求してみたい!」
文系女子が理系の研究に目覚めて
大学院へ進学、賞を受賞するまでに!
なぜそこまで夢中になれたのか、
研究の面白さについて聞いてみました。

「好き」な理系を選択したから
見えてきた将来の目標

文系から理系へ、転換した理由は?

後藤 もともと化学が好きだったので文系科目が得意で、大学も文系を選択しようと考えていました。そんな私に、高校の先生が「好きなものを選んだ方が絶対にうまくいく」とアドバイスしてくださり、理系への進学を決めました。

福工大に進学したのは、オープンキャンパスでの印象がとても良かったので。校舎がきれいで、私立なのに学費が安い、学業奨学制度も大きな決め手になりました。

研究のおもしろさに目覚めたきっかけは?

後藤 2年生の時に受講した研究実験の授業で、テーマは「廃棄物から有価成分を取り出す」というもの。もともと「これって何でできているんだ

ろう?」と“モノの土台”となる部分にとっても興味があったため、研究を進めるうちに、『研究開発者』という将来の目標がはっきりと見えてきました。その時の研究が今の研究テーマを選択するきっかけになりました。

大学院へ進学したのはなぜですか?

後藤 研究開発の職に就くには少なくとも大学院修士課程を修了しておく必要があると思いましたし、先輩たちの知識の高さに刺激を受けたことが大きな理由です。また、頑張れば奨励金支給制度もあるということを知り、『やりたいことを諦めずに研究できる!』と勇気づけられました。実際に奨励金支給制度の第1期生として採用していただき、学会などにも積極的に参加しています。

学会でも高い評価を得たということですが。

後藤 そうなんです!学会の「若手研究者及び技術者の研究発表会」でプレゼンテーションアワードを受賞しました。研究内容は「窒化ケイ素セラミックスの高熱伝導化」。太陽電池や電気自動車など大きな電流を使う電子基板に使われるセラミックスの材料開発の研究です。今後の目標はこの研究で成果を出して国際学会で発表することです。

FIT SUPPORT

学業優秀者には授業料を免除 大学院への進学・研究を支援

優秀な学生が経済的な理由で大学院進学を断念することのないよう、さまざまな奨学制度を設けています。

充実した支援制度

- 海外で学ぶ
大学院キャリア形成プログラム
(渡航費・研修費大学負担)
- 学業特別奨学生制度
(修士課程は各学年9名を授業料半額免除)
- 学業優秀者対象奨励金支給制度
(各専攻1学年あたり2名以内に
毎月8万円支給)
- 学会出席旅費等補助制度
(学会発表時に必要な旅費・宿泊費を補助)



工学部
電子情報工学科4年
吉村 聡志さん
(福岡県 鞍手高校 出身)
*日本放送協会(NHK) 内定



就職課に何度も足を運ぶ中で、トップアップ講座を知って受講

放送業界への就職をめざして まっしぐら!内定への2つの秘訣

幼い頃から最後まで諦めずに努力するタイプだったという吉村さん。難関の資格取得やトップアップ講座の受講など、志望企業からの内定を獲得できた秘訣を聞いてみました。

将来は「放送業界」へ!
資格取得から始めた独自の就活

福岡工業大学への進学を選んだきっかけは?

吉村 高校の夏休みに、福工大で教授の講義を受講したり、実験などを行うセミナーに参加しました。大学での学びを知ることができ、大学の雰囲気もとても良かったので、この大学で学んでみたいと思ったのがきっかけです。
工学の学びの中でも、電子情報工学科ならハードもソフトも学ぶことができることを知り、その学びの中で将来の目標を見つけようと、電子情報工学科への進学を決めました。

早めに将来の目標を立てたそうですね。

吉村 授業をいくつか受ける中で、就職は大学での学びを活かしたいと思い、1年生の時点で放送業

界への就職を目標にしました。そのために必要な資格や知識を調べ、在学中の資格取得を目指して勉強しました。早い段階で目標を立てたことで、いろいろな資格取得へもチャレンジできたのは大きかったと思います。

吉村さんは本学のトップアップ講座の第1期生でもありますよね?

吉村 そうです。就職活動を始める際、就職課に相談したところ、この講座を勧められました。トップアップ講座は半期24回、徹底した自己分析、筆記試験、面接、グループディスカッション、エントリーシートの添削など内容もさまざま。話すことが苦手だったのですが、とにかく人前で週に1回は話さなくてはいけなかったので、最後には大分慣れることができました。この講座のおかげで度胸もついたり、「絶対できる!」という自信を持つことができました。

目標でもあった「日本放送協会(NHK)」の内定を獲得されたとか。

吉村 やはり、早めに目標を決めて行動したのが良かったと実感しています。独自に勉強して取った資格も、トップアップ講座での勉強も自分に大きな自信をつけてくれたと思います。今の目標は、4年後に開催される東京オリンピックなど、大きなイベントの中継に携わることです。

放送業界に必要な無線従事者免許を2種類取得



FIT SUPPORT

細やかなサポートで高い就職内定率を実現!

2017年3月卒業者の就職率99.6%!
就職日本一を目指す福工大ではさまざまな就職活動支援を行っています。

徹底した就職活動支援

- 年間約800社の企業が集まる大学独自の「合同企業説明会」
- 学科別に専任相談員を配置。履歴書の添削指導や模擬面接、グループディスカッション対策を実施
- 福岡県外の企業を受験する学生には往復の交通費を補助
- 上場大手企業を目指す学生を支援する「トップアップ講座」を開催など



社会環境学部
社会環境学科2年
中山 歩美さん
(福岡県 香椎高校 出身)



他大学の学生と意見を出し合い、発表資料を作成

思い切って挑戦したプログラムが私を大きく成長させてくれた!

環境について学んでみたい!
福工大に入学し、アドバンスト・プログラムや学外プロジェクトでの活動で充実した生活を送る中山さん。どんな体験をしたのか聞いてみました。

いろいろな人との出会い、交流、積極的なチャレンジが私を変えた

福工大への進学を選んだきっかけは?

中山 皆が幸せに暮らしている社会とは何かを考えた時、私たちがとりまくさまざまな環境を学んでみたいという思いが芽生えました。そこから大学を調べていくうちに福工大の社会環境学部を知り、オープンキャンパスに参加して、学ぶ内容や教職員の親切な対応、学生の明るい雰囲気の魅力を感じて、進学を決めました。

実際に入学してみてどうでしたか?

中山 大学に入ったら授業以外にもいろいろなことに挑戦してみたいと思っていて、きっかけを探していたところ、1年生の「キャリア形成」という授業で先生が「アドバンスト・プログラム」のことを教えてくださいました。このプログラムに参加した学

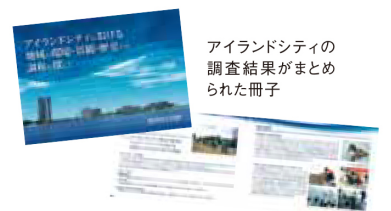
生は、その後とても成長しているということだったので、ぜひ私も参加してみたい!自分が変わるチャンスかも!と思い、参加させてもらいました。

「アドバンスト・プログラム」では実際にどういった活動をしましたか?

中山 福工大のほかに東京、新潟、京都の3つの大学の学生が東京に集まり講義を受け、グループに分かれて課題を検討しあい、最後に発表を行った後、福工大生は短期就業体験に参加し、それぞれの大学に戻り報告会を行います。他大学の学生と交流することで、刺激をもらえるし、コミュニケーション力や表現力などが身についたと思える貴重な経験でした。

地域連携プロジェクトにも参加されたとか?

中山 はい、他大学の学生と一緒に「アイランドシティ」に関するフィールドワークを実施し、自然環境を調査するプロジェクトに参加しました。普段の授業で学んでいる知識が現実の社会とどう結びついているのかを実感できましたし、これまで接する機会がなかったNPOや企業、自治体の方からもお話を伺って、興味深い活動でした。これらの経験から、自分自身の思い次第で積極的な自分になることができるということを実感できました。これからもさまざまなことに挑戦しながら成長していきたいです。



アイランドシティの調査結果がまとめられた冊子

FIT SUPPORT

大学を超えた取り組みで実践的な力を育てる

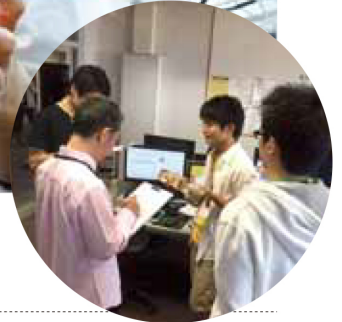
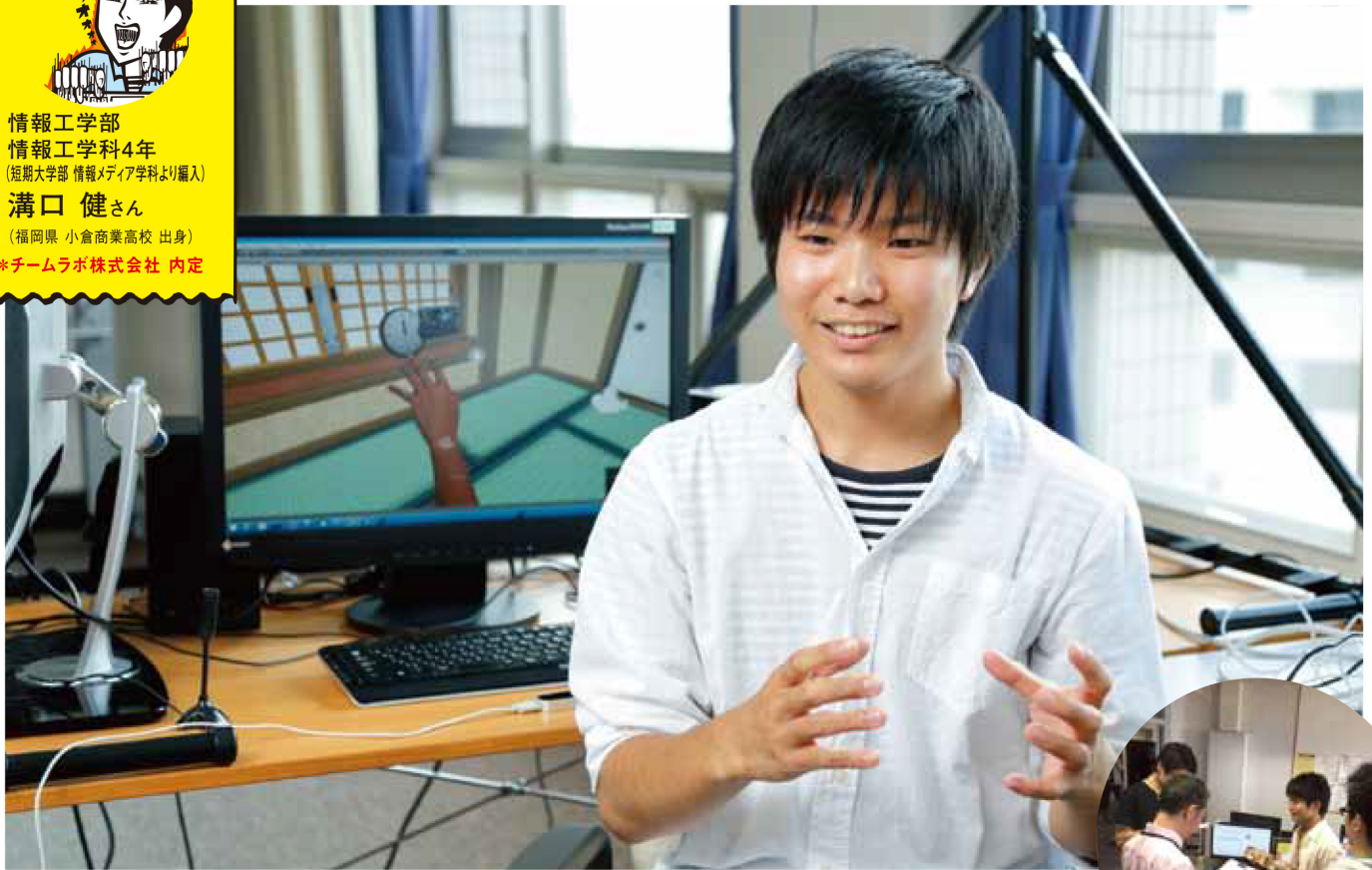
福岡工業大学では他大学や地域との連携事業を通し、学生に社会でいける実践力を身につける機会を提供しています。

さまざまな連携プログラム

- アドバンスト・プログラム
キャリア教育の一環として行われているプログラム。「他大学生との交流」と「短期就業体験」の2つの体験学習を通じ、「キャリア形成」の授業で学んだことを深めます。
- 東部地域大学連携学生合同プロジェクト
東部地域にある3つの大学が共同して地域の環境問題などを調査・研究し、結果を地域に還元するプロジェクト。



情報工学部
情報工学科4年
(短期大学部 情報メディア学科より編入)
溝口 健さん
(福岡県 小倉商業高校 出身)
*チームラボ株式会社 内定



将来はデジタルテクノロジー業界へ！ プロとの出会いが未来を動かした！

「八耐」は8時間でゲームやCG、映像を制作、発表するイベント。プロのクリエイターや他大学の学生も参加します



温泉で行われる制作イベント「SPAJAM2015」福岡予選で優秀賞を受賞

新しいゲームを作りたくて
福工大短大へ入学した溝口さん。
ゲーム作りへの情熱と努力で
大学編入、イベント受賞、チームラボの
内定を獲得するまでを聞きました。

たいと思って福工大の情報工学部情報工学科に編入しました。大学には人工知能に関する授業などゲーム作りに必要な授業もたくさんあって、楽しみながら学ぶことができました。

クリエイターが集まる「大八耐」で「チームラボ賞」を獲得されたそうですね。

溝口 そうなんです。2015年の大八耐ではチームみんなでアイデアを出し合い、スマートフォン2台でネットワーク対戦できる、VRのゲームをつくりました。3日間という限られた時間の中で試行錯誤を重ねてゲームを完成させるのは大変な作業でしたが、チームラボ賞を受賞した時はとてもうれしかったです！

就職も「チームラボ」に内定されたとか。

溝口 就職先を考えていた頃、賞を頂いたこともあって、チームラボのインターンシップに参加してみたいです。実際の社内の雰囲気も気に入って、そのまま新卒採用の選考を受けました。最終面接では大八耐の時に自分たちを評価してくださいと役員の方がいらしたので緊張せずに自己PRすることができました。チームラボは幅広いジャンルを扱っているの、いろいろな経験ができそうだと今からワクワクしています。

FIT SUPPORT

編入決定率は98.5% 4年制大学への 編入を支援

入学後すぐからの徹底したサポートで、福岡工業大学をはじめ、難関の理系国公立大学を含むさまざまな4年制大学への編入を実現しています。

編入実績

- 国公立大学 11名
(九州工業大学、宮崎大学、鹿児島大学、香川大学ほか)
- 福岡工業大学 47名
- その他私立大学 20名
(神奈川工科大学、東京工科大学、東京経済大学ほか)

開発したゲームが賞を獲得、 チームラボへ就職も内定！

福岡工業大学短期大学部への 進学を選んだ理由は？

溝口 幼い頃からゲームが好きで、ゲームプランナーになりたいと思っていました。進路を決める際に、福岡でゲームの基礎を学べる場所を探していたら福工大短大が見つかって、オープンキャンパスに参加しました。施設が充実していて雰囲気もよかつたし、ここでゲームについて学ぼう！と、迷わず進学を決めました。

福岡工業大学へ編入したきっかけは？

溝口 編入については、入学してすぐの頃から考えていました。短大ではゲーム作りの基礎となる部分を学ぶことが出来ましたが、「2年間では時間が足りない」と感じ、大学でさらに2年間勉強し

主体的な学びと研究高度化の中核

新棟

「E棟」が誕生!

福岡工業大学では、先進的で快適な学修環境をととのえるため、キャンパス全域をリニューアルしています。

今後もさらに施設の充実を図り、学生の成長の場を提供します。



[1F] 総合研究機構

キャンパス全域の研究機能を集約。研究活動の高度化・実用化に向けて、約50種の最新の研究機器を備えました。



[2F] 学生サポートセンター

学生課・教務課・大学院事務室・就職課を一体的に配置。学生生活から就職まで総合的なサポートを行います。



[3F] FD推進機構、大学・地域連携推進室

新たな教育方法開発の拠点として、FD推進機構、大学・地域連携推進室、さらに多目的教室を配置しました。



ICTを活用した先進的な図書館

3階から5階まで、それぞれ違ったテーマで利用できる図書館。学生同士が自由に学びあえる開放的な空間、一人で集中できるスペースなど用途もさまざま。ハイスペックPCやソフトウェアも充実しています。



ゼミやサークル、自主イベントなどにも利用できるプレゼンテーションコート。



BGMが流れる空間で自主学習や軽食をとりながらのグループ学習など様々な方法で活用。

学修・寛ぎのためのラーニングコモンズ

グループ学修では活発な議論が交わされるよう、また、個人でも快適に学修できるよう、学生のニーズに合わせた空間を整備しています。



新たな施設も続々リニューアル!

B棟・ITコモンズ

ITコモンズは高性能パソコン45台を活用した個人・グループでの活動に対応した学修スペースです。



C棟・学生ホール

2017年4月、学修と寛ぎが調和する学生ホールへリニューアルオープンしました。



福岡の大学では初!

セブンイレブン

大学構内にセブンイレブンがオープン。買物のほか、ATMやマルチコピーなどのサービスもうれしい。



就職率 ※2017年3月卒業生

大学

99.6%

(834名/就職希望者837名中)

短大

100%

(64名/就職希望者64名中)

短大からの大学編入決定率 ※2017年3月卒業生

98.5%

(67名/編入希望者68名中)

※卒業生の4割超が大学へ編入

国公立大学
編入合格者数
11名

全国レベルで高い評価を得ています!

就職に力を入れている大学

九州の**1**位 ※
私大 **1**位
全国20位

面倒見が良い大学

九州の**1**位 ※
私大 **1**位
全国16位

入学後、生徒を伸ばしてくれる大学

九州の**1**位 ※
私大 **1**位
全国31位

※大学探しランキングブック2017 全国の高等学校の進路指導教諭対象に調査

For all the students

FIT Fukuoka Institute of Technology
福岡工業大学

工学部・情報工学部・社会環境学部(文系) / 大学院 / 福岡工業大学短期大学部
〒811-0295 福岡市東区和白東3丁目30番1号 JR鹿児島本線「福工大前駅」より直結

福工大



YouTube

